

令和8年度



5月ようちえんだより



二亀幼 HP

令和8年4月28日
江東区立第二亀戸幼稚園
園長 芦田 敦子

自分だけのこいのぼり みんなのこいのぼり

園長 芦田 敦子

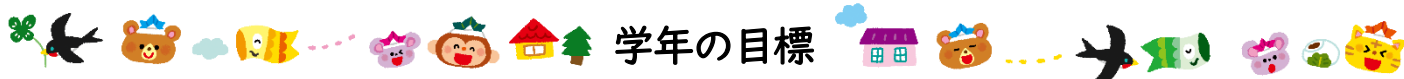
爽やかな風と陽気の中、こどもたちは園庭のこいのぼりにも負けないくらい元気に遊んでいます。入園・進級から2週間が過ぎ、年中も年長も少しずつ園での生活に慣れ、様々な遊びを楽しむようになってきました。そしてもうすぐこどもの日、ということで、両学年ともこいのぼり作りを楽しんでいます。

年中組はこいのぼりの形の紙に、自分の好きな色の丸い紙をのりて貼って、うろこを作っていきます。自分の好きな色だけを貼りたい子、とにかくたくさん貼りたい子、真っすぐ並べて貼りたい子、など、思いは様々ですが、自分だけのこいのぼりが出来上がると嬉しそうに飾る姿がありました。

年長組は友だちとグループになって一緒に色やうろこの形を相談しながら作っていきます。「この色にしようよ」「いいよ！」とすんなり決まるグループもありますが、それぞれが自分の意見を言うもののその先どうしたらよいか困って、教師がお互いの思いを橋渡ししながらようやく決まるグループもあります。そんな思いを経て、友達と力を合わせて作ったこいのぼりはとても可愛く、思いの深い作品となりました。

年長になると、友達と相談したり、力を合わせて一つのことをやりとげたりする経験が、遊びや生活の中でたくさん出てきます。その時期や発達に合わせて相談する数や内容が違いますが、簡単なものから少しずつ複雑になっていき、力を合わせたら素敵なものができた！という思いを積み重ねていきます。そして年中組の「自分だけのお気に入りのこいのぼりを自分で作った！」という自信や喜びの積み重ねも、しっかりと年長組で「協力する」力の土台につながっているのです。

幼稚園でこどもたちが作ってくる作品は、発見、工夫、自信、協力、達成感、など様々な思いが詰まっています。「この作品には何が入っているのかな？」という視点で、お子さんと会話したり、作る過程を想像したりしながら、一緒に楽しんでみてくださいね。



学年の目標

年中 ばら組

- ・自分のやりたい遊びを見つけて遊ぶことを楽しんだり、教師や友達と一緒に過ごす楽しさを感じたりする。
- ・戸外で体を動かす心地よさや楽しさを感じる。
- ・身支度や弁当の手順などが分かり、自分でやってみようとする。

年長 ゆり組

- ・友達に、思いや考えを言葉で伝えたり、相手の考えを聞いたりとしながら、共通のイメージや目的をもって、遊びや生活を進める楽しさを味わう。
- ・風や水の心地よさを感じながら、戸外で思い切り体を動かして遊んだり、ルールのある遊びを楽しんだりする。